



一部訂正版



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場会社名 株式会社エヌエフ回路設計ブロック 上場取引所 東
 コード番号 6864 URL <http://www.nfcorp.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 常夫
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役業務管理本部長 (氏名) 大滝 正彦 (TEL) 045-545-8101
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,531	△8.1	355	△25.2	363	△23.8	249	△18.0
27年3月期第2四半期	3,840	—	474	—	476	—	304	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 223百万円(△30.1%) 27年3月期第2四半期 319百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	39.70	—
27年3月期第2四半期	52.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,287	6,955	67.6
27年3月期	10,949	6,857	62.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,955百万円 27年3月期 6,857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	※20.00	※20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※訂正箇所

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,750	5.3	1,200	10.6	1,180	11.3	710	12.0	113.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	6,330,000株	27年3月期	6,330,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	50,574株	27年3月期	50,574株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	6,279,426株	27年3月期2Q	5,820,681株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1株当たり予想当期純利益は自己株式を含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)における世界経済は、中国経済の減速や欧州経済の停滞など一部に弱さを抱えながらも先進国を中心に緩やかな回復を辿りました。

他方、わが国経済は、企業の景況感や設備投資の回復基調は継続しているものの、輸出や生産の一時的な弱含みや個人消費の伸び悩みから、全体としては回復の動きが一服し、当社の属する計測器業界においては一部において不透明感を抱えながら推移しました。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、既存4事業領域各々の責任体制をより明確にし、開発・生産・販売の連携をさらに強化するなど、各々の事業成長を目指し新製品の開発と拡販に努めましたが、売上高は、カスタム応用機器と関連製品での売上低下に伴い減収となりました。また、利益面においては、売上減少に加えて中期的な成長を見据えた戦略投資および新規商品開発への取り組み強化による費用増加も伴い、減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,531百万円(前年同期比8.1%減)、損益面では経常利益363百万円(前年同期比23.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益249百万円(前年同期比18.0%減)となりました。

② 営業の分野別状況

当第2四半期連結累計期間における営業の分野別状況は、次のとおりであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、広帯域デジタルロックインアンプを上市するなど、継続的な新製品の開発と拡販に努め、当期においては、強み製品であるファンクションジェネレータ、周波数特性分析器をはじめLCRメータ等が総じて堅調に推移しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は529百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、プログラマブル交流電源 DPシリーズの新ラインアップを上市するなど、新製品の開発と拡販に努め、当期においては、バイポーラ電源や保護リレー試験器が堅調に推移しました。他方、当社カスタム応用機器に組み込まれる関連製品が減少となり電源機器全体としては弱含みで推移しました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は1,287百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

《電子部品分野》

電子部品分野は、当社が得意としているアナログデバイステクノロジーをベースにして開発したカスタム製品が堅調で、当期においては、航空宇宙関連市場向け等の需要が活発で受注は好調に推移しました。但し下期納期のものが多く、上期売上としては不調で推移しました。

以上の結果、電子部品分野の売上高は315百万円(前年同期比34.6%減)となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、当社の強みである計測技術と電力制御技術を駆使した各種電源装置から各種システムに亘るソリューション事業を積極的に展開し、当期においては、半導体製造装置用ピエゾドライバや部品検査用装置などが堅調であったものの、上期売上全体としては不調で推移しました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は1,118百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

《その他分野》

この分野は、校正・修理および仕入商品の売上が主で、売上高は280百万円(前年同期比31.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、たな卸資産及び有形固定資産などが増加したものの、売上債権などの減少により、前連結会計年度と比較して661百万円減少し、10,287百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、759百万円減少し3,332百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、97百万円増加し6,955百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下資金という)は前連結会計年度末に比べ104百万円減少し、1,282百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは36百万円の増加となりました。

これは主に、仕入債務の減少281百万円、預り保証金の減少150百万円、たな卸資産の増加137百万円、賞与引当金の減少96百万円、未払消費税の減少114百万円、法人税等の支払232百万円などにより減少したものの、税金等調整前四半期純利益378百万円、売上債権の減少671百万円、減価償却費122百万円などにより増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは148百万円の減少となりました。

これは主に、固定資産の取得による支出150百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは7百万円の増加となりました。

これは主に、配当金の支払124百万円により減少したものの、短期借入金150百万円により増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、一部において弱含みが続くものの、米国を中心に緩やかな回復が継続するものと期待され、国内においても、円安定着を背景とする輸出の持ち直し、設備投資の緩やかな増加、個人消費の緩やかな回復等から、全般的には緩やかに回復することが期待されます。

このような状況のもと、当社グループにおいては、既存4事業領域をさらに成長させるべく新製品の継続的上市、新製品を含む強み製品の拡販、原価・経費低減等を引き続き強力で推進してまいります。特にデバイス事業およびカスタム応用機器事業のさらなる成長、環境エネルギー関連をはじめとする新規の事業領域開拓へ向けて取り組んでまいります。

開発面では特に電子計測器、電源機器の製品ラインアップ強化、デバイス開発の強化、環境エネルギー関連商品の開発などを推進してまいります。また、販売面では各営業拠点の販売、サービス機能の拡充を図るとともに、顧客へのソリューション提供活動をなお一層強力で展開してまいります。

なお、業績予想につきましては、今後の受注の見通しなど現時点では不確定な要素もあることから、前回業績予想を変更しておりません。

業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,909,699	2,804,758
受取手形及び売掛金	3,210,428	2,539,011
商品及び製品	429,049	602,235
仕掛品	626,157	644,566
原材料	679,360	624,918
その他	275,165	239,042
貸倒引当金	△10,000	△10,000
流動資産合計	8,119,860	7,444,532
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,341,245	1,341,923
その他(純額)	883,555	938,429
有形固定資産合計	2,224,800	2,280,353
無形固定資産	271,127	236,764
投資その他の資産	333,858	326,131
固定資産合計	2,829,786	2,843,248
資産合計	10,949,646	10,287,781
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,023,524	741,775
短期借入金	116,600	259,400
未払法人税等	244,613	91,474
賞与引当金	308,003	211,971
役員賞与引当金	33,900	—
受注損失引当金	—	521
その他	669,202	479,796
流動負債合計	2,395,844	1,784,938
固定負債		
長期借入金	1,226,400	1,226,400
退職給付に係る負債	158,072	157,070
長期未払金	100,601	101,619
資産除去債務	19,446	19,485
その他	191,487	43,170
固定負債合計	1,696,008	1,547,745
負債合計	4,091,853	3,332,684

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	953,965	2,000,000
資本剰余金	1,292,301	401,137
利益剰余金	4,579,955	4,548,634
自己株式	△22,543	△22,543
株主資本合計	6,803,679	6,927,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,113	27,868
その他の包括利益累計額合計	54,113	27,868
純資産合計	6,857,793	6,955,096
負債純資産合計	10,949,646	10,287,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,840,750	3,531,290
売上原価	2,338,991	2,180,443
売上総利益	1,501,759	1,350,847
販売費及び一般管理費	1,027,416	995,817
営業利益	474,342	355,029
営業外収益		
受取利息	549	284
受取配当金	16,597	18,723
その他	7,208	6,744
営業外収益合計	24,354	25,752
営業外費用		
支払利息	15,943	11,687
売上割引	4,156	3,574
その他	1,817	2,226
営業外費用合計	21,917	17,488
経常利益	476,779	363,293
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21,551
特別利益合計	—	21,551
特別損失		
固定資産除却損	7,568	6,082
特別損失合計	7,568	6,082
税金等調整前四半期純利益	469,211	378,761
法人税、住民税及び事業税	126,376	78,464
法人税等調整額	38,806	51,009
法人税等合計	165,183	129,474
四半期純利益	304,028	249,287
親会社株主に帰属する四半期純利益	304,028	249,287

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	304,028	249,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,019	△26,245
その他の包括利益合計	15,019	△26,245
四半期包括利益	319,048	223,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,048	223,042
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	469,211	378,761
減価償却費	99,432	122,783
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△516	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△8,000	521
賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,151	△96,031
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,100	△33,900
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,510	△1,002
預り保証金の増減額(△は減少)	—	△150,348
受取利息及び受取配当金	△17,146	△19,008
支払利息	15,943	11,687
有形固定資産除却損	7,568	6,082
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△21,551
長期未払金の増減額(△は減少)	△11,306	1,017
売上債権の増減額(△は増加)	267,874	671,416
たな卸資産の増減額(△は増加)	43,559	△137,152
仕入債務の増減額(△は減少)	40,330	△281,748
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,457	△114,293
その他	△17,001	△73,345
小計	815,646	263,889
利息及び配当金の受取額	17,146	19,008
利息の支払額	△18,435	△14,473
法人税等の支払額	△291,088	△232,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	523,269	36,016
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△49,360	△130,066
無形固定資産の取得による支出	△84,890	△19,978
投資有価証券の取得による支出	△10,651	△34,934
投資有価証券の売却による収入	—	36,721
その他の支出	△11,461	△1,371
その他の収入	3,106	859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,257	△148,769

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△7,200	△7,200
社債の償還による支出	△20,000	—
自己株式の取得による支出	△796	—
リース債務の返済による支出	△9,177	△10,008
配当金の支払額	△98,529	△124,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,296	7,811
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	434,308	△104,940
現金及び現金同等物の期首残高	610,371	1,387,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,044,679	1,282,520

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社は、平成27年6月24日の定時株主総会の決議に基づき、平成27年6月25日付で、資本準備金725,662千円、その他資本剰余金165,501千円、繰越利益剰余金154,870千円をそれぞれ減少し、資本金に組み入れを行いました。

この結果、第2四半期連結会計期間末において資本金が2,000,000千円、資本剰余金が401,137千円となっております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。